

平成20年度社団法人日本小児保健協会総会議事録

日時：平成20年9月26日（金）11：00～12：00

会場：札幌コンベンションセンター第1会場

《総会の成立》

平成20年9月26日（金）、札幌コンベンションセンターにおいて出席社員総数179名のうち委任状128通を加え社員の過半数以上に達したことを確認した上、議長に堤 裕幸会頭を選出し、議事録署名人に土屋 正己（東京都）・服部 益治（兵庫県）両者を指名し開催した。

《議 事》

1. 平成20年度人事・事業実施報告

*平成20年度人事・事業実施状況に関して福永 慶隆 理事より報告があり承認された。

（1）会員数

	平成19年3月31日	平成20年3月31日	平成20年8月31日現在
会 員	5,326名	4,962名	4,714名
	正会員 4,988名 (内 入会数 334名)	正会員 4,633名 (内 入会数 380名)	正会員 4,393名 (内 入会数 241名)
	団 体 338団体	団 体 329団体	団 体 321団体
賛助会員	16社	16社	16社

（2）支部長交代

（支部）	（旧）	（新）
北海道	藤枝 憲二	有賀 正
栃 木	白石 裕比湖	杉田 憲一
石 川	佐藤 保	小泉 晶一
兵 庫	中村 肇	高田 哲
熊 本	三池 輝久	木村 重美（代行）
大 阪	西田 勝	岡本 伸彦

（3）役員会等の開催

全国理事会2回、支部長会2回、常任理事会3回、代議員会1回、編集委員会4回、予防接種・感染症委員会1回、発育委員会1回、小児救急の社会的サポートに関する

委員会 1 回、学校保健委員会 1 回、栄養委員会 1 回、小児医療委員会（チャイルドシート検討委員会 1 回・事故予防委員会 1 回）、乳幼児健診システム委員会 3 回、平成 22 年度幼児健康度調査委員会 1 回、健やか親子 21 協議会第 4 課題 1 回を開催し本協会の事業遂行上必要な案件を協議、決定し運営している。

(4) 平成 20 年度春季総会

平成 20 年 4 月 25 日（金）、東京国際フォーラムにおいて開催し、社員総数 190 名、出席社員総数 184 名内委任状 134 名、社員の過半数以上に達したことを確認した上、議長に土屋正己氏を選出し、議事録署名人に飛田正俊（東京都）・村上睦美（東京都）両氏を指名し開催し下記の議案が承認された。

- 1)平成 19 年度事業報告
- 2)平成 19 年度収支決算および監査報告

(5) 日本小児保健学会の開催

第 55 回日本小児保健学会を開催。

会頭：堤 裕幸 教授（札幌医科大学医学部小児科学教室）

日時：平成 20 年 9 月 25 日（木）～ 27 日（土）

会場：札幌コンベンションセンター（北海道札幌市）

テーマ：「家族、学校、社会の絆を太くする」

(6) 機関誌等の刊行

- ・「小児保健研究」現在 67 巻 4 号まで発刊した。
- ・「小児保健シリーズ」“N o.62 思春期の子育て支援～小児科の新たな課題～”を刊行した。

(7) 講演会等の開催

- ・母子保健指導研修会を含む研究会・後援会等を開催中（支部と共同）。
- ・判定技術養成講習会(DENVER IIーデンバー発達判定法ー)を 3 回開催した。

(8) 小児保健セミナーの開催

- 1)第 25 回小児保健セミナー「思春期の子育て支援～小児科の新たな課題～」

平成 20 年 6 月 15 日（日）に有山 登記念講堂に於いて開催した。

参加者数は約 80 名であった。

- 2)「小児保健セミナー in 沖縄」を平成 21 年 1 月 25 日（日）沖縄小児保健センターに於いて社団法人 沖縄県小児保健協会と共催し開催する。

(9) 協会活動

1)編集委員会、予防接種・感染症委員会、発育委員会、小児救急の社会的サポートに関する委員会、学校保健委員会、栄養委員会、小児医療委員会（チャイルドシート検討委員会・事故予防委員会）、乳幼児健診システム委員会、平成 22 年度幼児健康度調査委員会、健やか親子 21 協議会第 4 課題のそれぞれが本協会の目的のために活動している。

2)中国大地震、ミャンマー・サイクロン災害、岩手・宮城内陸地震へ義援金を拠出した。

3) 第 18 回日本小児看護学会学術集会ランチョンパフォーマンスセミナー（平成 20 年 7 月 27 日（日）：名古屋国際会議場）において、「子どもの事故防止：チャイルドシートと看護師の役割」をテーマとしチャイルドシート啓発活動を行った。

2. 平成 21 年度事業計画案

*各担当常任理事より報告がなされた

(1) 日本小児保健学会開催（福永 慶隆 理事）

第 56 回日本小児保健学会は、大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学講座小児科学 大菌恵一教授を会頭として、平成 21 年 10 月 29 日(木)・30 日(金)・31 日(土)の 3 日間。大阪国際会議場（大阪）に於いて開催される。

テーマ：「すくすく育て、こころとからだ」

(2) 「小児保健研究」を年内に 6 冊刊行する。また、小児保健シリーズを 1 冊以上刊行し、支部活動等に役立てる。(小板橋 靖 理事)

(3) 講演会等の開催（高橋 孝雄 理事）

支部と共同して、母子保健指導研究会を含む研究会・講演会等を開催する。

(4) 教育普及の拡充（高橋 孝雄 理事）

協会の事業として教育普及の拡充につとめる。

第 26 回小児保健セミナーは、平成 21 年 6 月 21 日（日）に開催する。

テーマ「保育所保健のテーマ（案）」、会場 「順天堂大学 有山 登記念講堂(案)」。

(5) 協会活動の充実（大西 文子 理事）

小児保健協会活動助成(研究助成・実践活動助成)の授賞者の決定および表彰を行う。本協会の目的に役立つ事業の実施につとめる。

実践活動に関して、各支部長に推薦を要請された。

3. 平成 21 年度収支予算案

財務担当 五十嵐 隆 理事より平成 21 年度収支予算案が別紙の如く提案され、承認された。

4. 小児保健奨励賞について (大西 文子 理事)

平成 20 年度小児保健協会活動助成が下記の通り決定し、表彰式を行った。

《研究助成》

○重松 美智子・他 (神奈川県厚木保健福祉事務所)

「医療機器等装置児の支援体制づくりについて(第 1 報・第 2 報)」

《実践活動助成》

○水野 宏子 (山形県小児保健協会)

「鶴岡市すこやかな子どもを生ま育てるネットワーク推進委員会」

5. 平成 20 年度名誉会員の推薦 (福永 慶隆 理事)

北海道 : 奥野 晃正

群馬 : 竹内 政夫

東京 : 高野 陽

神奈川 : 松山 秀介

大阪 : 西田 勝

上記5名が承認された。

6. 日本小児保健学会会頭について (福永 慶隆 理事)

第 57 回 (平成 22 年) 日本小児保健学会会頭

新潟大学医学部小児科 教授 内山 聖

日時: 平成 22 年 9 月 16 日 (木) ~ 18 日 (土)

会場: 朱鷺メッセ 予定

7. 支部活動 (大西 文子 理事)

1) 全国 47 支部が活動を続けている。また、各地においての小児保健研究会、母子保健指導研修会の共催・後援、「こどもの健康週間」(日本小児科学会主催)の後援および参加をはじめとし、各種関連事業を後援している。

2) 平成 19 年度支部活動報告 (小児保健研究第 67 巻 4 号 P.673-690 に掲載)

3) 平成 20 年度活動状況報告

8. その他

- 1)日本小児科学会・日本小児科医会（日本小児科連絡協議会）との合同で、日本小児科連絡協議会 3 回、合同委員会：「子どもをタバコの害から守る」合同委員会 1 回、自動車乗車中の子どもの安全推進合同委員会 3 回、子どもとメディア委員会 2 回、予防接種・感染症委員会 2 回開催し、目的に沿った活動を行っている。（大西 文子 理事）
- 2) 新公益法人移行準備等について 平岩 幹男 理事より説明された。
- 3)近藤 富雄 代議員から、会員数の減少の原因の分析と対策の見通しについての質問があり、福永 慶隆理事から、原因を調べ対策を検討する旨の回答があった。
- 4) 理事会、各種委員会などの活動状況を会員に知らせて欲しいとの要望が出され、ホームページ・雑誌「小児保健研究」等で公開することを検討してみる旨の回答があった。

平成 20 年 9 月 26 日

社団法人 社団法人日本小児保健協会

議 長 堤 裕幸 ⑩

議事録署名人 土屋 正己 ⑩

議事録署名人 服部 益治 ⑩